

男子

女子

中

高

大

東京都世田谷区

とうか 東京農業大学稲花小学校

【理事長】大澤 貴寿

【校長】夏秋 啓子

〒156-0053 東京都世田谷区桜三丁目33番1号 TEL 03-5477-4115 <http://www.nodaitoka.ed.jp/>

【交通】小田急線「経堂駅」または東急世田谷線「上町駅」徒歩約15分 小田急バス・東急バス「農大前」徒歩約5分

東京農業大学の資源を活用する 開校3年目を迎えた新しい小学校

教育理念「冒険心の育成」

東京農業大学の創設者である榎本武揚公は、未知なるものにひるまず、困難に立ち向かうことの大切さを、「冒険は最良の師である」とオランダ語の書に表現して知人に贈っています。東京農業大学稲花小学校の教育の理念「冒険心の育成」はこの言葉に基づいたものであり、未知なる新しい世界に挑む気骨と主体性を持ち、本気になって取り組み、科学的・実践的に学ぶ人間を育てます。

カリキュラムの特徴

体験型学習の重視●東京農業大学が専門とする「生き物」や「自然」、「食」に関する体験型学習の時間を数多く設定しています。活動のフィールドとして、隣接する東京農業大学世田谷キャンパスや厚木キャンパスを活用するほか、宿泊学習では富士農場や北海道オホーツクキャンパス、宮古亜熱帯農場への訪問なども予定しています。また、1年生から理科、家庭科の授業を実施します。

1年生からの英語授業●1年生から毎日1時間（45分）、ネイティブの外国人講師によるオールイングリッシュの授業を展開します。また、講師は休み時間や給食の時間なども可能な範囲で児童と時間を共にし、児童に英語でコミュニケーションをする機会を提供します。

1日最大7時間の時間割●豊富な体験活動や英語科の授業と、国語や算数などの一般的な教科の質を両立するため、時間割は1日最大7時間（1年生は週1日のみ）とし、子どもたちの状況を見ながら、丁寧にカリキュラムを進めます。

授業の新しい環境●新しい校舎は、すべての教室に電子黒板が標準装備されています。ホワイトボードとして板書も可能なため、デジタルとアナログのそれぞれの特徴を踏まえた新しい授業スタイルの確立をめざしています。

食育としての給食●校内の給食室で調理される毎日の給食は、大切な「食育」の時間です。食事の重要性や食品に関する知識、食材の生産等にかかわる人々への感謝の心を学びます。

上級学校に進むには

東京農業大学第一高等学校中等部への内部進学については、一定の学力基準を設けることを検討しています。

小学校設置の理由と校名の由来

校長 夏秋 啓子

東京農業大学は、農学・生命科学分野に特化した全国でも数少ない大学です。「農学」は自然や食、地球環境と実に幅広いテーマを対象としています。これらは生活に身近なものであり、人間が生きていくうえでとても大切なことです。そして、身近であるがゆえに、大学の教育・研究資源が小学校の教育にも活用できると考えました。

小学校の名前に用いられた「稲花」は、東京農業大学の「大学の花」でもあります。子どもたちが、まるで1本の穂に200粒近い「コメ」を実らせる稲のように、様々な力と可能性を育んでいくことができたらと思います。



沿革

2019年4月開校。母体である東京農業大学は、農商務大臣や外務大臣など明治政府の要職を歴任した榎本武揚公によって1891年に創設された。大学のキャンパスや施設を活用した体験型学習や、大学の教員の直接的・間接的な関わりなど、大学の持つ資源を小学校教育に活かすカリキュラムを展開する。

2022年度募集要項

募集人員：前後期合計 男子36名/女子36名

出願期間：

10月1日～4日

（出願サイト「miraicompass」によるインターネット出願）

入学検定料：25,000円

試験日：

11月1日～4日から1日

選考内容：ペーパーテスト、行動観察

面接日：

10月11日～29日より指定された日時

合格発表：

11月6日 Webにて発表

合格者には合格通知を送付

【諸費用】

入学金：250,000円

授業料：600,000円

施設設備費：100,000円

教育充実費：200,000円

その他給食費、教材費、積立金など

データパック

◆児童数216人（1～3年生）/教員数24人

◆21年度実志願者数：男子367人、女子325人

◆合格者数：男子48人、女子50人

【併設校】

○東京農業大学

○東京情報大学

○東京農業大学第一高等学校

○東京農業大学第一高等学校中等部

○東京農業大学第二高等学校

○東京農業大学第三高等学校

○東京農業大学第三高等学校附属中学校